



前進座錦秋公演



秀吉はなぜ、利休に切腹を命じたのか……？

# 雪間草

利休の娘お吟

海音寺潮五郎 原作「天正女合戦」より  
朱海青 脚本 / 鈴木龍男 演出

【ゆきまそう】

2024年  
11月8日(金) - 14日(木)



MITSUKOSHI  
三越劇場 〒103-8001 東京都中央区日本橋室町1-4-1  
日本橋三越本店本館6階

11月20日(水)  
立川・たましんRISURUホール  
後援：(公財)立川市地域文化振興財団

11月21日(木)  
武蔵野市民文化会館

# 雪間草

## 利休の娘お吟

秀吉、利休、三成、ねね、茶々、  
そして利休の娘お吟…。  
守るべきもののため命をかけた  
レジェンドたちの願いは今も…？  
「前進座×林与一」  
いざ本格時代劇の世界へ！

### 【ものがたり】

天下統一を目前にした豊臣秀吉は、千利休を茶頭（茶の湯を司る役）、側近として重用、厚い信頼を寄せていた。利休の娘・お吟は茶の湯の才高く、大坂城内で北政所（秀吉の正室ねね）や大政所（秀吉の母なか）のために工夫を凝らしたもてなしをして、皆を魅了する。喜んだねねは、お吟を茶の湯の指南役にとりたてる。しかし、秀吉もまた密かにお吟の美貌に目をつけていた。

一方、利休の弟子・宗三はお吟に想いを寄せていることを告白する。宗三を好ましく思いつつも、最初の結婚に破れ、茶の湯ひとすじに生きたいと願うお吟の心は揺れ動く。

秀吉の寵愛する側室茶々（淀殿）が懐妊。秀吉は大陸までも支配して、我が子をその王にさせんと、唐御陣（朝鮮出兵・大陸侵入）へのめり込む。秀吉の弟・秀長やねねらが必死に止めるのにも耳を貸さず、秀吉は利休とも対立を深めていく。命をかけた利休の説得に秀吉は…。

### タイトル「雪間草」の由来

花をのみ待つらむ人に山里の

雪間の草の春をみせばや

（藤原家隆、十二世紀）

（春といえば、花々が咲く事だけを待つ人に、山里に積もった雪の間に芽吹く若草にこそ、春がすでにそこにあることを見せたいものだ）  
利休が、「侘び茶」の理想の精神をあらわす歌、として示したとされています。



美術 佐々波雅子  
照明 松本由美  
音楽 日高哲英  
効果 横山あさひ  
舞台監督 中橋耕史

制作 楠脇厚子  
小林美千枝

デザイン：阿部寿 宣伝写真：加藤幸 メイク：青木満寿子



〈石田三成〉 新村宗二郎  
〈京極竜子〉 上沢美咲  
〈おきく〉 横澤寛美  
〈豊臣秀吉〉 風澤三郎  
〈山下宗三〉 河原崎國太郎  
〈お吟〉 浜名実貴



〈北政所ねね〉 西川かずこ  
〈大政所なか〉 前園恵子  
〈豊臣秀長〉 藤田勇貴（助演）  
〈茶々〉 松宮美菜  
〈おちよぼ〉 中野里咲



〈千利休〉  
林与一

林与一（特別出演）1942年大阪府出身。俳優・舞師家。曾祖父は歌舞伎役者の初代中村扇治郎。1958年大阪歌舞伎座で初舞台を踏む。「人形佐七捕物帳」「必殺仕掛人」など、時代劇スターとして様々な作品で活躍。舞台では、自身の座長公演のほか、山本富士子・山田五十鈴・森光子ら数多くの女性座長の相手役を勤め、特に美空ひばりは黄金コンビとして人気を集めた。現在は、舞台出演のかたわら、講演会やトークショーなど全国で開催。2024年3月、第45回「松尾芸能賞・功労賞」受賞。

11月8日(金)ー14日(木) 三越劇場 日本橋三越本店  
本館6階

11月20日(水) たましんRISURUホール 大ホール

11月21日(木) 武蔵野市民文化会館 大ホール

ご観劇料金(全席指定・税込)

A席8,500円/B席5,000円/C席3,500円(三越劇場はC席なし)

お問合せ 前進座東京事務所 Tel: 0422-49-2811(平日 午前10時~午後5時) Fax: 0422-45-0312 Email: tokyo@zenshinza.com

三越劇場	立川							武蔵野	
2024年	8	9	⑩	11	12	13	14	20	21
11月	金	土	日	月	火	水	木	水	木
午前の部	—	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	—	—
午後の部	14:30	14:30★	14:30	—	14:30★	14:30★	14:30	15:00	15:00

★林与一・前進座俳優による「アフタートーク」開催(11/9出・12/11・13/13休)各日14:30の部(終演後)上演予定時間:2時間30分(休憩含む)



## 東京土建統一観劇会

11月10日(日)

14:30 開演の部

【日本橋・三越劇場】

A席:6,500円

定価8,500円のところ  
友の会料金に  
共済会補助がついて

※他日・他会場でも同料金で承ります

お問合せ・お申込みは…  
各支部厚生文化部へ

### 東京土建組合員家族のみなさん

前進座友の会会員のみなさん こんにちは。  
東京土建本部厚生文化部長の小坂 剛です。

2024年の11月公演は『雪間草—利休の娘お吟—』です。昨年に引き続き日本橋・三越劇場(日本橋三越本店)での公演となります。

権力と芸術、愛と野望—誇り高きレジェンドたちが織りなす、激しくも静かな戦国絵巻となっています。

今回の観劇目標は、全都で200人とさせていただきます。支部での取り組みの目安として、支部厚生文化部会や支部執行委員会でご確認いただき、多くの仲間への声かけをお願いします。

三越劇場で、前進座を多くのみなさんで楽しみましょう。お待ちしております。

東京土建前進座友の会会員募集中!

会報や機関紙が届き、  
前進座が身近になります!

